



TANABE CONSULTING 2024

企業価値を高める戦略CFO研究会

ゲストご紹介資料

ビジネスの最前線を走る企業による実践型講義で、

成功・失敗のリアルなポイントを学びます。

講義を受けての提言とノウハウを

コンサルタントがわかりやすく統括し的確にサポート。

経営層との交流も図れ、

各社のノウハウを自社の強みに転換することができます。

ぜひ、ご参加ください！

▼ 詳しくはこちら

タナベ 研究会

検索



お申込み・詳細はタナベコンサルティングホームページ
または、担当コンサルタントまでお気軽にお尋ねください。



- (元) オムロン株式会社
取締役執行役員専務CFO兼グローバル戦略本部長
- (現) 株式会社ワコールホールディングス
社外取締役
日本CFO協会理事

日戸 興史 氏

部分最適から全体最適の経営へ — 企業価値を上げ続ける実践ROICマネジメント —

1. 海外企業に比較して、多くの日本企業は収益率が低く、魅力的な投資先が少ないと多くの投資家から指摘されているなか、ROIC経営が注目されている。
2. いざROIC経営を実践しようとしても、どう導入したらよいか？どうすれば成果に結びつけられるのか？といった悩みを持つ企業も少なくない。
3. 収益性を高め、十分な投資を行うことで成長する好循環を起こすには？投資家／市場からの信頼を勝ち取り、企業価値を大きく向上させるには？短期と中長期、収益と成長のどちらも犠牲にする事なく両立させるには？という重要課題に応える「全体最適のROIC経営」の実践および事例について経験を交えてご講演いただく。



J. フロント リテイリング 株式会社

執行役常務 財務戦略統括部長 若林 勇人 氏

収益性向上に向けた経営管理の高度化と CFOの新たな役割

1. Jフロントにおける財務視点の経営管理改革について、百貨店での経営改革と事業会社マネジメントの強化策

2030年将来像に向けた経営管理の高度化について

①事業ポートフォリオ変革

2. ②財務目標

③ROI経営管理

④キャッシュ・アロケーション、HD

のリスク管理強化の4つの取組みについて

3. これまでの日本ではCFOの役割を決算中心のアカウントティングを主と捉える向きが強いが、 リスクヘッジをした上で挑戦し新しい価値を生み出すことが求められる これからのCFOの役割についてご講演いただく。

これまでの日本ではCFOの役割を決算中心のアカウントティングを主と捉える向きが強いが、

リスクヘッジをした上で挑戦し新しい価値を生み出すことが求められる

これからのCFOの役割についてご講演いただく。



株式会社

レゾナック・ホールディングス

取締役 常務執行役員 最高財務責任者(CFO)
兼株式会社レゾナック 取締役 最高財務責任者(CFO)
染宮 秀樹 氏

レゾナックの企業変革とその中でのCFOの役割

1. 世界の中での再編に乗り遅れた日本の化学業界において、昭和電工による日立化成の買収という大きなリスクを取ってでも御社が大変革に乗り出した背景
2. 「チーム高橋」新体制による、サステナビリティを前面に置いた戦略、経営理念、社名、組織、文化全体のトランスフォーメーションの取組み
3. レゾナックの企業変革におけるCFOとしての取組み内容とポートフォリオ改革の現状と展望



雪ヶ谷化学工業 株式会社

代表取締役社長 坂本 昇 氏

社会課題解決型製品の展開を軸にした 攻めのESG経営

1. 自社と社会の持続可能性を両立させる世界中のサプライチェーン企業のロールモデルとなり得る実践例をご紹介いただく。(第7回ジャパンSDGsアワード内閣官房長官賞受賞理由)
2. SDGsを経営方針の中心に据えることで企業価値を向上させ、その行動で構築される新しいパートナーシップの可能性についてご紹介いただく。
3. Environment 改善の裏でSocietyに悪影響を与えていないか、また、潜む人権リスクにどう対処するかについてご講演いただく。



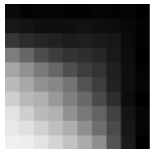
講演

- (元) 株式会社ブリヂストン
執行役員専務グローバルCFO
日本電産株式会社 (現ニデック株式会社)
取締役専務執行役員兼CFO
- (現) 株式会社CFOサポート
代表取締役兼CEO

吉松 加雄 氏

M & A・PMIの要諦と企業価値を高めるCFOの役割

1. 持続的企業価値向上を担う経営者の役割について、特にサステナブル経営軸に焦点を置いた考察
2. M & A・PMIの要諦
3. 経営人財の育成と確保



AVANT

株式会社

アバント

コーポレートストラテジーコンサルティング事業部長
進藤 浩史 氏

企業価値向上に向けた 事業ポートフォリオとROICツリーの活かし方

- 近年、企業経営に求められることの複雑さが増している。パーパス/存在意義と経済合理性を両立させ、かつ、企業価値経営の三要素(1. 創出価値, 2. 資本コスト, 3. 成長率)のバランスを取る舵取りが求められる。
- その世の流れへの対応の為、多くの企業が資本効率指標(ROE/ROIC等)や事業ポートフォリオ等の枠組みを取り入れた。一方で、経営判断やアクションに繋がっている実感が湧かない企業も多いのではないかと。それらの枠組みの有効活用に至るまでには、織り込むべき戦略視点と乗り越えるべき壁がある。
- あるべき経営手法の抽出からシステムの実装・運用・改善に至るまでを、顧客と伴走/支援してきたアバント(ソフトウェアベンダー)が、それらの枠組みを有効活用している経営手法の事例とそこに至った問題意識を紹介いただき、企業が取るべき次の一歩を提示いただく。



Tabio

tradition in motion

タビオ 株式会社

代表取締役社長 越智 勝寛 氏

新しい時代の経営者のマインド・リセット

1. コロナ禍以降、あらゆる事象が、それまでの予想を上回る速さで変化してきたが、この激動の時代に、過去の成功体験や表面だけの企業価値向上を目指しても、大きな意味はない。
2. 一旦マインドをリセットし、全く新しい目で企業理念や自社の強みを見つめ直すことが、重要である。
3. 本講演では、現在のタビオの取り組みと、今後の展望についてご講演いただく。



株式会社

ニコン

取締役専務執行役員CFO（最高財務責任者）
徳成 旨亮 氏

企業価値向上とCFOの役割 ～「CFO思考」とアニマルスピリッツ～

1. 「CFO」と「財務経理担当役員」 — C-Suite制と文鎮型組織
2. 広がるCFOのカバレッジ — 非財務（サステナビリティ、人的資本経営等）にも関与
3. 企業価値向上のエンジンとしてのCFO — リスクアペタイト・フレームワーク